

回覧

やっがね

発行 茅野市立東部中学校 P T A 編集 教 養 部

第40回八ヶ嶺祭



PTA副会長 小口 美香
全ての方々に心より感謝申し上げます。日頃から多忙な学
校運営の中、ご協力いただいた先生方、活動にご理解とご支
援をして下さった保護者の皆様、年間強いチームワークで活
動を共にした役員・委員の皆様、深くお礼申し上げます。

PTA活動の一環として、玉川地区の保育園・学校・地域の
役員の方々とキャキフエで『キッズナラランド』の係として参加
させて頂きました。生徒達が参加することで、地域と一体
となつて子供達の成長を支えていく重要性を改めて感じるこ
とが出来ました。多くの皆様と協力し子供達の笑顔に接する
ことが出来た事は、私にとってかけがえのない財産となりました。
一年間、本当にありがとうございました。

PTA活動を振り返って

教頭 北條 度之

櫻田会長を中心とした東部中学校PTAが始まって一年が
経とうとしている。今年度は特に市川校長が着任され、さら
に新しい雰囲気となった。
四月末の総会で審議をいただき活動をスタートした。同じ時
期に生徒会も総会を経て活動に入った。双方とも「何かできる
か」「みんなが参加できるとしたら」と多くの参加者を考えな
がら進めていたと思う。どのような参加となつただろうか。
さて、参観日の折に学年部の皆さんに活躍いただき、学年学
級懇談会を進めていただき、保健厚生部では、講演会や校内
の巡視と時間を割いていただき、校外指導部では地域へ出向
いて生徒の登校を見守っていただき、施設部では校内の出入
れをしていただいた。そして本部の皆様には教職員の研修にも
ご参加いただいたり、全ての活動にお力を注いでいただいたり
した。これだけ多くの保護者の皆様にお力添えをいただいたら
十分だと思う。

本年度関わっていただいたすべての保護者の皆様に感謝し
かありません。ありがとうございました。

PTA副会長 栗田 ゆき



3年 修学旅行



編集後記 PTA教養部
今回の会報は、生徒たちの頑張っ
ている姿を皆さんに見て頂きたく多くの
写真を掲載しました。生徒たちが日々
無事に学校生活を過ごせたのも先生方
のお力添えのおかげと感謝していま
す。
発行に際し、各関係者の方々にご協
力いただき、ありがとうございました。



生徒会

結 ぶすぶ
～個々の輝きと幸動で全校が結びつく東部中～
(生徒会スローガン)

# 令和7年度を振り返って

## 1年 キャンプ



## 2年 登山



### R7年度PTA活動を振り返って 案ずるより産むがやすし

PTA副会長 佐藤 広樹

PTAの役員は何をするのか、どれほど忙しいのかという不安も抱えつつ、分からないことは教えてもらおうという若干の楽観をもって活動を行いました。  
実際中学の先生やPTA会長、副会長との打ち合わせや会議などありますが、最小限になるような配慮がされていきました。打ち合わせを通じて学校について知り、ほかの保護者の方々の考え方を知る貴重な機会にもなりました。

具体的な活動で印象に残ったことはケヤキフェスに参加したことになりました。当日は「作りを担当しました。準備や片付けでは学校の枠を超えて協力し、当日は「こもがこも」を作り遊ぶ姿を間近で見ることができました。大変さもありますが楽しい時間でもありました。  
多くの方の手助けをいただきましたが、やってみれば何とかなることを経験できました。  
1年間ありがとうございました。



(2)



「全校の繋がりが強まり、  
一つに結ばれた東部中」  
生徒会長 小平 颯

今年度の生徒会は「結ぶ」個々の輝きと幸動で全校が結びつく東部中をスローガンに活動してきました。集会時に全校一人ひとりが二か月間で「達成したいこと」「成長したいこと」という目標を立て生活するのびろろをエッセイしたり、一人ひとりが「幸動する意味」を改めて考える幸動WEBXを実施したりすることで、全校生徒が自分の輝きを大切に自分だけではなく友達や先輩、後輩のこともより考えられるようになったと感じました。  
そして八ヶ岳祭で、昨年度までとはまた違った全校生徒の「色」が存分に出るような「縦割り」を柱として行うことができ、「第40回」という節目の文化祭で全校そして役員全員で創り上げることができました。私たち生徒会役員が1年間やり切れたのは、全校生徒の皆さんや先生、保護者の方々地域の人々が協力してくれたからこそだと思います。これからも生徒会の一ひとりの積極的な参加よろしく願います。最幸な時間をありがとうございました。



「結びつき」が強くなった1年間  
女子副会長 矢崎 愛佳

令和7年度生徒会では、「結ぶ」個々の輝きと幸動で全校が結びつく東部中をスローガンとし、生徒会を運営してきました。昨年度から引き続き、先輩方が土台を作ってくださった縦割りで活動を生かして、より縦と横のつながりを深める活動に力を入れました。さらに、そこから個々の意見を尊重し合ったり、幸動の輪を広げていったりという活動を行いました。また、今年度は、一人ひとりの輝きも大切にしたいと思い、自分の「のびろろ」を目に見える形にする企画も行いました。  
文化祭では、今までのみんなの活動の成果により、第四十回という大きな節目にふさわしい全校全員が輝いた文化祭をつくりあげることができました。  
これらの活動から私は、一人ひとりの輝きによって、生徒会や学校全体がより良いものになっていくということを感じて実感しました。これらの活動ができたのは、生徒会役員、全校の皆さん、先生方、保護者の皆様、そして何より地域の皆様の支えや協力があったからこそだと思います。一年間、本当にありがとうございました。



令和7年度を振り返って  
男子副会長 及川 喬雅

今年度は、「結」というスローガンのもと全校が縦と横で結ばれ、繋がれるような生徒会を目指してきました。前年度の良い部分も参考に、新しい活動も取り入れてきました。活動を通して、大変さや難しさを感じたこともたくさんありました。しかし、大変さや難しさのなかには、この役割でしか経験のできない素晴らしい体験が多くありました。特に、八ヶ岳祭では、新たな試みを行いました。例えば、座席の変更や、生徒会企画、ウォークラリー中のミニゲームなど、新たに挑戦することが多く、とても不安が大きかったです。しかし、成功させたいという思いを持ち、取り組み終わったとき、達成感を感じることができました。全校生徒のみなさん、先生方をはじめ、保護者の皆様や、地域の皆様のおかげです。一年間たくさんのご協力ありがとうございました。

(3)